

ブート イメージを使用した ROMmon からのアップグレード方法

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ブートイメージとは何か。\(\(Rx ブート \)](#)

[ブート イメージのロード](#)

[関連情報](#)

概要

このページでは、ブート イメージの TFTP 機能を使って、ROM モニタ (ROMmon) プロンプトからルータをアップグレードする方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

[ブートイメージとは何か。\(\(Rx ブート \)](#)

ブート イメージとは、回復状況において、TFTP を使用して主要な Cisco IOS ソフトウェア イメージをルータにダウンロードするために使用される、Cisco IOS® ソフトウェアのサブセットです。ユーザは、Router(boot)# プロンプトで示されるコマンドライン インターフェイスを介して、このイメージを相互に対話できます。一部のプラットフォーム (Cisco 1600、2500) では、このイメージは ROM にあります。ブートフラッシュ内に存在する場合 (ハイエンド ルータ) があり

ます。このイメージは、プラットフォームによって、xboot イメージ、Rxboot イメージ、ブートストラップ イメージ、あるいはブートローダまたはヘルパー イメージと呼ばれています。

ブート イメージの機能は限定されています。たとえば、ルーティング情報は含まれません。

警告：ブート モードのときは設定を保存しないでください。この方法で保存した場合は、設定の一部（ルーティングに関する部分など）が失われます。

ブート イメージのロード

ルータに有効なブート イメージが含まれる場合は、このブート イメージを使用して、有効な Cisco IOS ソフトウェア イメージを TFTP によってフラッシュにダウンロードできます。これを行うには、次の手順を実行します。

1. コンフィギュレーション レジスタを次のように設定することにより、ブート イメージをブートするようにコンフィギュレーション レジスタを変更します（設定方法はプロンプトによって異なります）。rommon 1 > confreg 0x2101 or > o/r 0x2101 You must reset or power cycle for the new configuration to take effect. *!--- This is the router output when a configuration register command is entered.* これで、ブート イメージをブートするようにコンフィギュレーション レジスタが変更されました。
2. ルータをリセットすることにより、ブート イメージをブートします。rommon 2 > reset or > i System Bootstrap メッセージが表示され、ルータがブート イメージをブートします。画面には次のように表示されます。System Bootstrap, Version 11.1(10)AA, EARLY DEPLOYMENT RELEASE SOFTWARE (fc1)
Copyright (c) 1997 by cisco Systems, Inc.
C1600 processor with 18432 Kbytes of main memory
program load complete, entry point: 0x4018060, size: 0x1e1568
Restricted Rights Legend
.
.
!--- Output omitted. . . Router(boot)> ここで、Router(boot)> のようなプロンプトが表示されます。
3. ROMmon モードのままである場合は、ブート イメージが失われているか、または破損していることを意味します。ルータのフラッシュまたはブートフラッシュに有効なイメージがなく、ROMmon からのアップグレード手順が他にない場合は、互換性のあるフラッシュ カードを搭載した同種のルータを用意し、このルータにイメージをダウンロードした後、フラッシュ カードを問題のルータに移す以外に復旧の方法はありません。
4. フラッシュ カードの互換性に関する情報は、「[PCMCIA フラッシュカードのファイルシステム互換性対照表およびファイルシステム情報](#)」を参照してください。
5. ユーザが TFTP サーバに到達できるネットワークにルータのイーサネット インターフェイス 0 を接続します。ルータのイーサネット インターフェイスの IP アドレスを設定します。
Router(boot)>enable Router(boot)#configure terminal Router(boot)(config)#interface ethernet 0 Router(boot)(config-if)#ip address 10.77.241.160 255.255.255.0 Router(boot)(config-if)#no shutdown
6. ブート イメージを実行するルータにルーティング機能がありません。したがって、そのルータのデフォルト ゲートウェイを設定する必要があります。このルータに適したデフォルトのゲートウェイを設定するには、ip default-gateway グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用します。このゲートウェイは、現在のイーサネット 0 インターフェイスと同じサブネットに接続されているルータの IP アドレスをポイントしている必要があります

software. X.25 software, Version 3.0.0. Basic Rate ISDN software, Version 1.1. 1
Ethernet/IEEE 802.3 interface(s) 1 ISDN Basic Rate interface(s) System/IO memory with
parity disabled 2048K bytes of DRAM onboard 16384K bytes of DRAM on SIMM System running
from FLASH 7K bytes of non-volatile configuration memory. 16384K bytes of processor board
PCMCIA flash (Read ONLY) Configuration register is 0x2102 Router>

TFTP サーバからロードした新しい Cisco IOS イメージが実行されています。

関連情報

- [システムメモリのメンテナンス](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)